

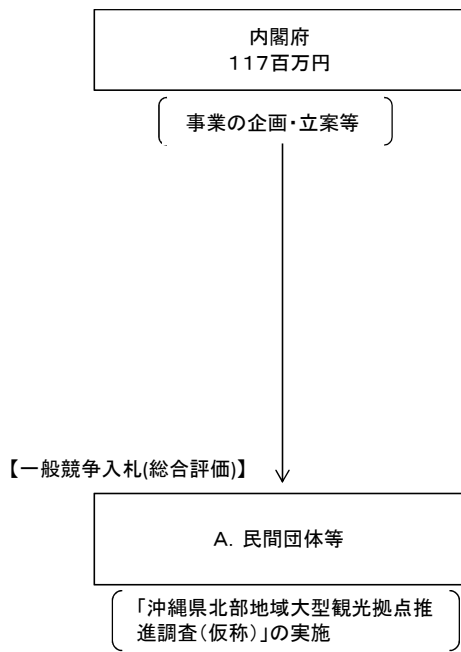
平成27年度行政事業レビューシート (内閣府)

事業名	大型観光拠点推進に必要な経費（仮称）			担当部局庁	内閣府政策統括官（沖縄政策担当）			作成責任者
事業開始年度	平成28年度	事業終了（予定）年度	平成28年度	担当課室	企画担当参事官室			参事官 岡本 誠司
会計区分	一般会計			政策・施策名	4.2 沖縄振興計画の推進に関する調査（政策1.2-施策②）			
根拠法令（具体的な条項も記載）	—			関係する計画、通知等	沖縄振興基本方針（平成24年5月 内閣総理大臣決定） 沖縄振興計画（平成24年5月 沖縄県）			
主要政策・施策	沖縄振興、地方創生			主要経費	その他の事項経費			
事業の目的（目指す姿を簡潔に。3行程度以内）	今回、新たな大型観光拠点の沖縄県北部地域への進出の動きがある中、観光客の更なる増加による一層の観光振興、及び北部地域全体の地域振興に大きく寄与することを目的とする。							
事業概要（5行程度以内。別添可）	国際競争力のある大型観光拠点を核とした観光エリアに期待される役割、滞在型観光・新観光ルートの確立や産業・地域連携の推進、支援のあり方等に関して必要な調査・検討を行う。 事業主体：内閣府							
実施方法	委託・請負							
予算額・執行額（単位：百万円）	予算の状況	当初予算	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-	
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-	
		予備費等	-	-	-	-	-	
		計	0	0	0	0	124	
	執行額	-	-	-	-	-		
	執行率（％）	-	-	-	-	-		
成果目標及び成果実績（アウトカム）	定量的な成果目標	成果指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度	
	-	-	成果実績	-	-	-	-	
	-	-	目標値	-	-	-	-	
	-	-	達成度	％	-	-	-	
成果目標及び成果実績（アウトカム）欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載							<input type="checkbox"/> チェック	
定量的な成果目標の設定が困難な場合	定量的な目標が設定できない理由			定性的な成果目標と24～26年度の達成状況・実績				
	定量的な目標が設定できない理由及び定性的な成果目標			沖縄県北部地域大型観光拠点推進に関する課題の整理等を目標としているため。				
	事業の妥当性を検証するための代替的な達成目標及び実績			-				
活動指標及び活動実績（アウトプット）	代替目標	代替指標	単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度	
	調査の実施及びとりまとめ報告書の作成	調査の実施及びとりまとめ報告書の作成	実績	調査一式	-	-	28	
	調査の実施及びとりまとめ報告書の作成	調査の実施及びとりまとめ報告書の作成	目標値	調査一式	-	-	1	
活動指標及び活動実績（アウトプット）	活動指標			単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込
	定量的に活動指標を示すことは困難であるので、調査の実施を活動実績とする。			活動実績	調査の実施	-	-	-
	定量的に活動指標を示すことは困難であるので、調査の実施を活動実績とする。			当初見込み	調査の実施	-	-	-

単位当たり コスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	沖縄県北部地域大型観光拠点推進の検討のための調査の実施のために要した調査費用から単位あたりコストを算出								単位当たり コスト
				計算式	/	-	-	-	-
平成 27-28 年度 予算 内訳 (単位：百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	職員旅費	-	7						
	沖縄振興開発調査委託費	-	117						
計	0	124							

事業所管部局による点検・改善					
項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	沖縄観光は好調に推移し、北部地域にも多くの観光客が訪れているが、北部地域での滞在時間が十分とは言えず、その波及効果の広がりには課題が残る状況にある。今回、新たな大型観光拠点が形成され、大幅な観光客の増加が見込まれることを受けて、沖縄県北部地域の観光振興、ひいては沖縄全体の振興に資するよう幅広く調査を行うものである。	
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	新たな大型観光拠点が形成され、大幅な観光客の増加が見込まれることを受けて、沖縄県北部地域の観光振興、ひいては沖縄全体の振興に資するよう幅広く調査を行うものであり、国が実施する必要がある。	
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	新たな大型観光拠点が形成され、大幅な観光客の増加が見込まれることを受けて、沖縄県北部地域の観光振興、ひいては沖縄全体の振興に資するよう幅広く調査を行うものであり、優先度の高い事業である。	
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				
	受益者との負担関係は妥当であるか。				
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか				
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)				
	所管府省・部局名	事業番号	事業名		
点検・改善結果	点検結果				
	改善の方向性				
外部有識者の所見					
行政事業レビュー推進チームの所見					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況					
備考					
関連する過去のレビューシートの事業番号					
平成22年度	-	平成23年度	-	平成24年度	-
平成25年度	-	平成26年度	-		

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

※端数処理の関係で、「資金の流れ」と「費目・用途」に記載の金額の合計が一致しない場合がある。

費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A.			E.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	計		0	計		0	
	B.			F.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	計		0	計		0	
	C.			G.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	計		0	計		0	
	D.			H.			
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)	
	計		0	計		0	
	費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載					<input type="checkbox"/> チェック	

支出先上位10者リスト

A.	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
B.	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
C.	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
D.	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
E.	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
F.	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
G.	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
H.	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載					<input type="checkbox"/> チェック